

令和5年度 神河町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症ケア推進部会

認知症サポーター養成講座

認知症ケアパスの活用促進

認知症相談センターとしての対応

初期集中支援チーム事業

オレンジカフェ（認知症カフェ）の支援

認知症に対する普及・啓発

報告者氏名： 竹鼻 美結

神河町 認知症施策全体図

認知症・介護予防教室

- ・ほがらか教室
- ・いきいき倶楽部
- ・こつこつ貯筋教室

もの忘れ健診

- ・地区巡回健康教室
 - ・認知症・介護予防教室
- 認知症タッチパネルで脳の健康度をチェック

オレンジカフェ（認知症カフェ）

NSボランティアが月1回開催

集いの場・エール

ボランティアがカフェを毎週開催

認知症サポーター養成講座

（小中学校・地域）



認知症ケアネット

- ・『あんしんナビ』2023年一部改正
- ・『みまもりナビ』2024年作成

高齢者等安心見守り・SOSネットワーク事業

- ・福祉給食サービス
- ・傾聴ボランティアの訪問
- ・緊急通報システム

認知症対策WG会議

- ・世界アルツハイマーデーの啓発

介護者の会

- ・たまゆらの会
- ・地域サロン「らくや」（コロナ禍で中止）
社会福祉協議会・介護事業所が定期的に開催

認知症初期集中支援チーム

（2ヶ月に1回実施）

神河町における認知症初期集中支援チームの効果

令和5年度 認知症初期集中支援会議の実績（チーム会員5回/年）

	性別	年齢	世帯	認知症の診断	結果
1	女性	90歳代	高齢者夫婦	なし	医療機関にも繁からず，支援も拒否されている。
2	女性	80歳代	息子夫婦と同居	なし	医療機関への受診には繋がっていないが，症状の出現は，家族からの孤独による寂しさと考えられ，地域の集いの場へ参加を促す。
3	女性	70歳代	息子夫婦と同居	なし	町外への転出により，その後の経過は不明。
4	男性	80歳代	高齢者夫婦	あり	介護保険申請については，症状も顕著に現れおらず，家族の見守り等もあるため申請はせずに経過観察となる。
5	女性	70歳代	1人暮らし	なし	認知症ではなく妄想性障害と診断される。定期的に精神科へ受診されており，経過観察となる。

【認知症初期集中支援事業の効果と課題】

《効果》

- 専門職の意見を聞くことができ、対象者にとってよりよい支援を導き出すことができる。
- 今後の認知症の進行を見越した支援の検討も行うため、対象者だけではなく、担当のケアマネージャーの支援にも繋がっている。

《課題》

- 認知症初期（早期）の段階では、本人に自覚はなく、本人・家族が介入の必要性を感じていないため、対象者の選択が難しい。

• 最後に・・・

まだまだ認知症に対する理解が本人・家族に浸透していないことで、必要な支援に繋がるまでに時間を要します。本人・家族が認知症に対して正しく理解し、必要な支援に繋がり、認知症当事者が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、これからも支援していきます。